

小学校低学年の部 【最優秀賞】

あーちゃんのこと



太田市立鳥之郷小学校 3年

くりばら ころ
栗原 心

わたしの家のとなりには、「あーちゃん」というパパのお母さんがすんでいます。あーちゃんの家には毎日行きます。わたしがあーちゃんの家に行くと、「ここちゃん、いらっしやい。」と笑顔で言ってくれます。そして、いつもジュースやおかしを用意してくれます。あーちゃんとは、しんけいすいじやくをしたりランプをしたりしてよく遊びます。わたしは、やさしいあーちゃんが大好きです。

七月三十日の朝の四時半に大事けんが occurred。あーちゃんがかいだんからおちたのです。きゅうきゅう車が来たとき、わたしは、びっくりしました。「あーちゃん、大じょうぶかな。」と心ばいになりました。あーちゃんは左足をこっせつしたので、一週間入いんすることになりました。

今はコロナかなのでおみまいにはいけません。だから、あーちゃんがさみしくないように毎日電話をしたりラインをしたりしました。「あーちゃん、おはよう」「あーちゃん、おやすみ」だけでなく、「今から学どうに行ってくるね」と伝えたり「あーちゃん大すき」と気もちをおくったりしました。あーちゃんから返事やスタンプがおくられてくると、うれしかったし、安心もしました。

あーちゃんは一週間でたいいんしました。だけど自由に行くことができません。歩行きを使って自分でトイレには行けるけれども、ほかの場所に行くことはできません。だからわたしは、あーちゃんにジュースを持ってきたり、かわりにゴミをすててあげたりしてい

ます。買い物に行くときは、車いすをおしてあげることもあります。

わたしは、あーちゃんがこっせつして気づいたことがあります。それは、ちよつとしたんさでも車いすですすむことができないことです。スロープがあるところが少ないとも感じました。家の中でもちよつとしたんさがあると、歩行きを使って自分で動くことがむずかしいこともわかりました。

けがをした人やしょうがいがある人やお年よりが、安全で安心してくらせる社会になればいいと思います。もし、町の中でこまっっている人がいたら、たすけてあげたいと思います。「大じょうぶですか。」と声をかけることもたすけてあげる一つになると考えています。

あーちゃんのこっせつがなおるまで、二か月かかるとです。少しずつよくなると思うけれども、まだまだ手だすけがひつようです。今まであーちゃんにやさしくしてもらったいじょうにやさしくしてあげたいと思います。

「あーちゃんはやくよくなつてね。」